

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系			根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 43年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる			終期
(小項目)		0			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 撫養町斎田・南浜・小桑島・大桑島地区による、撫養排水区。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		ポンプ施設の改築更新割合(24年度完了)管渠等の耐震化・長寿命化割合(24年度開始)	110	20	30	40	50	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用して、撫養ポンプ場の耐震・津波診断調査、及び老朽管渠の長寿命化工事に着手した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	1 撫養ポンプ場の再構築割合	100	-	-	-	-	%
		2 管渠等の耐震化・長寿命化割合	5	20	30	40	-	%
成果指標	対象にどのような効果があったか示す指標	ポンプ施設の改築更新割合(24年度完了)	105	25	-	-	-	%
		管渠等の耐震化・長寿命化割合(24年度)						
		目標達成率(実績/目標)		125.0	-	-	-	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	127,184	149,556	100,352	100,352	100,352	千円	
	財源内訳	国	63,429	74,610	50,000	50,000		50,000
		県	0	0	0	0		0
		地方債	68,300	65,000	55,000	55,000		55,000
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	(4,545)	9,946	(4,648)	(4,648)		(4,648)
事業にかかる人件費(人件費内訳の合計)		6,517	6,517	6,517	6,517	6,517	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費(事業費と事業にかかる人件費の合計)		133,701	156,073	106,869	106,869	106,869	千円	

【事務事業名:公共下水道維持管理事業(雨水)】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用しながら、平成23年度に策定した長寿命化計画を基にして、老朽管渠の長寿命化工事および撫養ポンプ場の耐震・津波対策設計を実施する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	都市下水路の適正な維持管理を図るため、ポンプ施設・管渠等について、優先度の高い施設から、耐震化を含めた改築または長寿命化を進める必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 災害に負けないまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	雨水管渠・ポンプ施設の適正な維持管理を図るため、優先度の高い施設から耐震化を含めた長寿命化を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				